

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書 7章18～35節＞

1 (18-23) 直前の、やもめの一人息子の生き返らせの出来事に注目。

洗礼者ヨハネは、「自分よりも優れたお方」(3:16)がイエス様かどうかを弟子たちに確認に行かせました。それに対してイエス様は、イザヤ書35:3-6,42:7の預言の成就、すなわちイエス様が難病を癒し、目を見える奇跡を起こされていることを告げられたのです(21-22)。ここで注目すべきは、ルカがイザヤ書にはない「死者は生き返り」を加え、すぐ前の箇所ではイエス様がそれを起こされたことを述べ(7:11-18)、また、「貧しい人への福音の告げ知らせ」も加えていることです。「わたしにつまづかない人は幸いである」(23)は、なかなか信じようとしないうるな心を持つ私たちへの語りかけでもあるでしょう。「見ないのに信じる人は幸いである」(ヨハネ福音書20:29)。

2 (24-28) 聖書の神様を受け入れた時に知らされる大きな恵み。

1で語られた内容で信じられるかと思う人がいると思います。ここでイエス様は、それに対して、「では、あなたは何を見たら信じるのか」と問われているのです。もし、この世的な成功や幸せとは違う真実なものを探し求めているなら、神様が用いられた方法、救い主を指し示す人物、洗礼者ヨハネを与えられたことに素直に耳を傾けることを大事にすべきなのではないでしょうか。しかも、ここで素晴らしいと思うのは、「神の国(バシレイア:支配が原意)の最も小さな者でも、洗礼者ヨハネより偉大である」(28)とされていることです。今ここで神の支配の下に生き出す人は、どんな人でも、神様によって価値ある者と考えられているということです！ イエス様はそのことを示すために来られた方なのです！

3 (29-35) 頑なな者も変わり得る。神様が変わって下さるのだから！

自分の主張に凝り固まってイエス様を受け入れなかった人たちは私たちの代表です。ああ言えばこう言う、こう言えばああ言うも私たち自身の姿ではないでしょうか。しかし、その頑なさも神様が変わって下さいます、私たちが信仰者とされたことがその証拠です！「しかし、知恵(神様のこと)の正しさは、それに従うすべての人によって証明される」(35)。